

第3回新外航海運政策検討会議事概要

1. 日時

平成18年5月26日(金) 14:00～16:00

2. 場所

国土交通省特別会議室(4階)

3. 議事

今後の外航海運政策(骨子)(案)

4. 議事概要

事務局から「今後の外航海運政策(骨子)(案)」の説明が行われ、委員からは以下のような質問及び意見があった。

【委員からの主な質問、意見等】

日本国旗掲揚船制度について

- 日本国旗掲揚船には具体的にどのような公法が適用されるか。

商船隊整備について

- 現状の外航海運業は非常に好調であるが、一方で造船船価があがってきており資金調達が問題になってくる。中長期的な観点で安定的な船隊整備の資金の確保について考えるべきではないか。
- 非常の際の輸送について、どのように考えるべきか。
- 外航海運全体としてこれから考えられる危機に対し合理的にどのような対策がとれるのか、どのような対策が費用対効果が高いのかを考えるべきである。

M&A対策について

- 会社法に基づく防衛策だけでどれくらい効力があるか不透明である。
- 企業のグローバル化との関係で、外航海運業に国のM&A対策等を導入することをどう説明するのか。
- 諸外国においては、M&A対策として独禁法はどのように運用されているのか。
- これから検討しようとしているM&A対策とは、具体的にどのような対策か。

海技の伝承について

- 「日本人海技者」をどう定義しているか。
- 良質な外国人海技者の確保について具体的にどう考えるか。またこれについては日本人海技者確保との優先順位を考えるべきである。

国際海上物流ネットワークについて

- 国際海上物流ネットワークの確保についても政策の視野に入れる必要があるとしているが、具体的にどのように行うのか。

以上